

# 安全データシート

## 1. 化学物質等及び会社情報

- ・製品名 : ロックウールフェルト
- ・会社名 : アイジー工業株式会社
- ・住所 : 山形県東根市蟹沢上縄目1816-12
- ・連絡先 : 水戸工場 技術管理チーム  
電話番号 029-240-9977 FAX番号 029-240-9978
- ・整理番号(SDS番号) : SDS-M1102

## 2. 危険有害性の要約

- 分類の名称 : 本品は通常の取扱いでは固体であるため、分類の対象外である。
- 有害性 : 目、皮膚などに触れたとき、刺激性を受けることがある。  
粉塵を長期間にわたり多量に吸入したとき、呼吸器に影響を受けることがある。
- 環境影響 : 知見なし。

## 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物 ロックウール91～95%、補強材、結合材5～9%

## 4. 応急措置

- 目に入った場合 : 清水で15分間十分に洗う。何か症状がある場合は、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 接触部を水で洗い流す。痛みが残ったり、何か症状があるときは医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 : 多量に粉塵等を吸い込んだときは医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 多量に飲み込んだ場合は、吐かせた後医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

- 消火方法 : 水及び消火器で風上より消火
- 消火剤 : 特に制約なし

## 6. 漏出時の措置

成型品のため液体、気体のような漏出はない。飛散した製品は掃き集めて回収し、適切な廃棄処理を行う。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 飛散に留意しながら取り扱う。  
必要に応じて、防塵眼鏡、防塵マスク、保護手袋を着用する。  
取扱い後は、うがい及び手洗いを励行する。
- 保管 : 雨、風の当たらないところに保管する。梱包の破れ等による製品の飛散を防止する。

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 質量濃度 (吸入性粉塵) 2.9mg/m<sup>3</sup>
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 (2007年度版) : 1.0f/ml
- 設備対策 : 局所排気装置の設置 (取扱い、使用等に粉塵の飛散あるとき)
- 保護具 : 長期間の粉塵吸入は咳や肺機能低下を引き起こす可能性がある。  
状況に応じて、防塵マスク、保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡、保護衣等を使用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観等：白色～薄青色  
沸点：該当なし  
融点：該当なし。  
嵩比重：0.20～0.25g/cm<sup>3</sup>  
引火点：なし  
発火点：200～500℃  
爆発限界：なし  
揮発性：なし

## 10. 安定性及び反応性

発火性：なし  
可燃性：あり  
酸化性：なし  
腐食性：なし  
自己反応性：なし（酸と若干反応して水素ガスを発生する）  
爆発性：なし  
粉塵爆発性：なし

## 11. 有害性情報

刺激性（皮膚、目）：目に入った場合、物理的な刺激作用がある。  
皮膚に付着した場合、痒みや紅斑を生じることがあるが、一過性で慢性の障害を生じることが無いとされている。

慢性毒性：発生する粉塵の中に吸引性繊維が含まれるので長時間にわたり多量に吸入すると呼吸器系障害の生じるおそれがある。

腐食性：知見なし  
感作性：知見なし  
急性毒性：知見なし  
がん原性：IARCによる発がん性評価グループ3  
変異原性：知見なし  
生殖毒性：知見なし  
催奇形性：知見なし

## 12. 環境影響情報

分散性：知見なし  
魚毒性：知見なし

## 13. 廃棄上の注意

当該物質：産業廃棄物処理業者に委託し廃棄処理する。  
包装材料：産業廃棄物処理業者に委託し廃棄処理する。

## 14. 輸送上の注意

包装が破損しないように注意する。  
荷の転倒、落下、損傷がないよう積み込みの際に崩れの防止を行う。

## 15. 適用法令

化学物質管理促進法：対象外  
毒劇物取締法：対象外  
労働安全衛生法：粉塵障害防止規則（但し、第2条別表第1に掲げる作業に限る）  
じん肺法：じん肺法施行規則（但し、第2条に該当する作業に限る）  
作業環境測定法：但し、粉塵障害防止規則第25条に該当する作業に限る。

## 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令

### 16. その他の情報

この資料は取扱い及び使用者に対して、適切な警告と安全な取扱法を参考情報として提供するものです。

情報は出来る限り正確且つ誠実なものであるよう勤めていますが、使用される環境及び条件については弊社がコントロール出来ないため、この使用によって直接的または間接的に損失もしくは損害を生じたとしても弊社はいかなる責任も負いません。

取扱いに関しましては、これを参考として自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願い致します。

従って、本データシートそのものは、安全の保証書では有りません。